

病害虫発生予察指導情報 (ブロッコリーべと病)

令和3年10月29日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

10月28日現在、ブロッコリーべと病の発生量が増加しています。向こう1か月の気象予報から、本病の発生に好適な気象条件が予想されますので、防除を徹底して下さい。

2 情報の根拠

- (1) 本年のブロッコリーべと病は、9月下旬まで平年と比べて平年並の発生量で推移していたが、10月第2半旬以降の気象経過により、10月下旬に一部の地域で発生量が増加した。
- (2) 10月下旬現在、県西部の巡回調査地点では、平年と比べて発生量がやや多い。
- (3) 本病は、10～15℃程度で降雨が続くと発病に好適な条件となる。向こう1か月の気象予報は、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想されており、本病の発生に好適な気象条件が予想される。

3 防除上注意すべき事項

- (1) 発病後の蔓延は早いので発病前、特に出蕾前から予防防除に努める。ほ場を観察する際は、特に下位葉をよく観察し、発病が見られる場合は直ちに防除する。
- (2) 同一有効成分及び同系統の有効成分を含む薬剤は連用しない。また、有効成分ごとの総使用回数及び収穫前日数に注意して薬剤を選定する(表1、表2)。



写真 罹病葉 (左：葉表面、中央：葉裏)、葉に形成された分生孢子 (右下) および罹病花蕾 (右上)

表1 ブロッコリーベと病の主な防除薬剤（令和3年10月28日現在の農薬登録内容）

RAC コード*	薬剤名	希積 倍率	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	
F:M05	ダコニール1000	1000	出蕾前、但し 収穫21日前まで	2回	TPN	
F:4 F:M05	フォリオゴールド	1000	出蕾前、但し 収穫21日前まで		TPN	メタラキシ ルM
F:40	レーバスフロアブル	2000	収穫7日前まで	2回	マンジプロパミド	
F:11	アミスター20フロアブル	2000	収穫3日前まで	3回	アゾキシストロビン	
F:11	メジャーフロアブル	2000	収穫前日まで	3回	ピコキシストロビン	
F:11 F:7	シグナムWDG	1500～ 2000	収穫7日前まで	2回	ピラクロス トロビン	ボスカリド
F:21	ランマンフロアブル	2000	収穫3日前まで	3回	シアゾファミド	
F:21	ライメイフロアブル	2000～ 3000	収穫7日前まで	4回	アミスルブロム	
F:M01	Zボルドー	500	-	-	無機銅	

*農薬の作用機構分類、同じ番号は同一系統であることを示す。

表2 有効成分ごとの総使用回数（令和3年10月28日現在の農薬登録内容）

有効成分名	総使用回数
TPN	3回以内(土壌灌注は1回以内、散布は2回以内)